

資料 4-2

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて

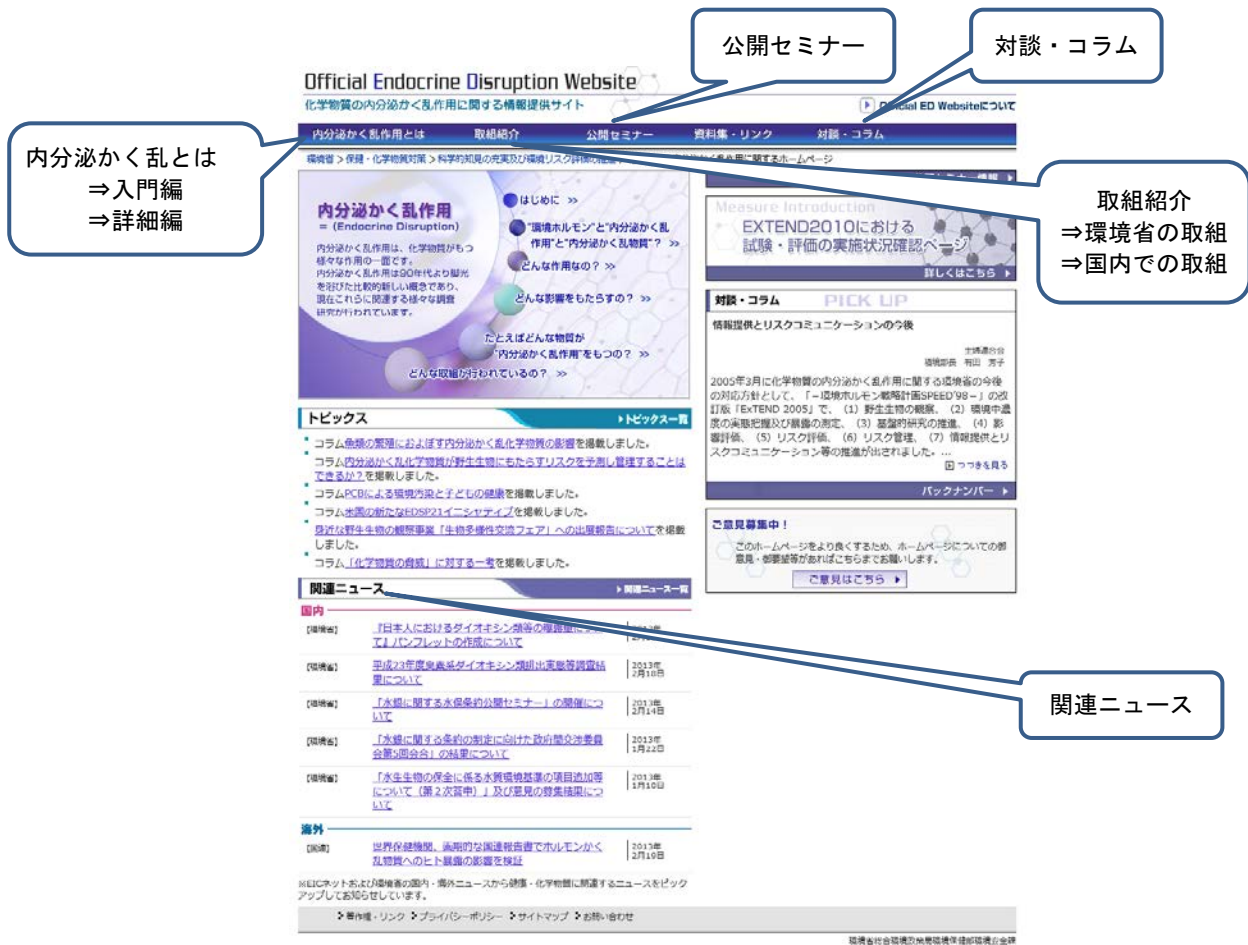
1. 背景・目的

化学物質に関する情報は、科学的に高度な内容を含むため、専門知識を有していない一般市民にとっては理解するのが困難な状況にある。また、化学物質の内分泌かく乱作用に関しては科学的に不明確な部分も多く、不十分な情報提供が時に混乱を招く可能性もあることから、内分泌かく乱作用も含めた化学物質に関する情報提供やリスクコミュニケーションのあり方・手法等について十分に検討した上で、情報提供を行う必要性が生じている。

EXTEND2010の取組みにおいては、引き続き適切な情報提供のあり方を検討しつつ、主に一般市民を対象に、ホームページによる化学物質の内分泌かく乱作用に関する正確で分かりやすい情報提供を進めているものである。

2. ホームページの構成

画面構成は以下のとおり。



3. ホームページの更新について

(1) コラムの更新

以下のコラムの追加を予定している。

■ オーストラリアにおける内分泌かく乱化学物質への取組み

オーストラリア連邦科学産業研究機構 (CSIRO) Land and Water

主任研究員：アヌ・クマール (Ph.D)

(2) 公開セミナーの開催報告

平成 25 年 12 月 13 日に開催した「平成 25 年度化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー (EXTEND2010)」の開催報告を掲載する予定である。

なお、別途、環境省の保健・化学物質対策ホームページ内の「化学物質の内分泌かく乱作用について」において下記のとおり開催報告を掲載済みである。

[環境省>保健・化学物質対策>化学物質の内分泌かく乱作用](#)

平成25年度化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー (EXTEND2010) 開催報告

日時	平成25年12月13日(金)13:00～16:30
会場	東京国際交流館 プラザ平成3階 国際交流会議場 東京都江東区豊洲2-2-1
主催	環境省

1. 開催目的

化学物質の内分泌かく乱作用(いわゆる「環境ホルモン」)については、平成22年7月に環境省が「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応— EXTEND2010 —」を現行としました。これに基づき、現在試験法の開発、評価の枠組みの確立、作用・影響評価の実施、野生生物への影響等に関する研究などを進めています。

「化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー」は、これまでに実施してきた化学物質の内分泌かく乱作用に関する調査研究の成果等について、専門家や市民の方々へ広くお知らせすることを目的として、平成22年度より開催してきました。

今回の公開セミナーでは、欧州における化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討の状況や日英共同研究における研究成果等について、英国の専門家による講演を行うとともに、国内で進めている関連研究の成果を報告します。

2. 参加者数

一般傍聴者：92名



3. プログラム

13:00-13:10 環境省 開会挨拶

牧谷 邦昭 (環境省環境保健部環境安全課長)



4. アクセス数等の解析について

本ホームページは、セキュリティ上の観点から、平成 25 年 9 月に環境省サーバーへ移行を行ったため、アクセス数等の解析が不可能となっている。